

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871500025
法人名	有限会社 やわらぎ
事業所名	グループホーム やわらぎ川内
所在地	東温市南方1787-2
自己評価作成日	H21、7月2日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・夏祭り ・お茶会 ・笑顔で賑やかな環境

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者と一緒に買い物に行った際や日々の会話の中から、食べ物の好みをうかがい、メニューに採り入れておられる。庭の菜園でできた野菜が食卓に上ることもある。食欲の無い方には、口当たりのよい麺類に代替えされたり、ジュース等で水分やカロリー摂取に心がけておられる。配膳されたり、食後に食器を重ねる等、ご自分のできることをされていた。雛祭り際には、2ユニット合同でバイキング形式の食事とされたが、普段より食欲が出た利用者も多かった。
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム やわらぎ川内

(ユニット名) ぼっかぼかのお家 A棟

記入者(管理者)

氏名

評価完了日 21年7月2日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 事業所独自の理念を分かりやすくしてフロアに貼って掲示し利用者の方々のペースに合わせるよう努力している。	
			(外部評価) 事業所理念「終の棲家として自己実現とかけがえのない人生の終盤期を送れるよう努力します」「人間としての尊厳を大切に自己決定権と個性の尊重に努めます」「毎日がイキイキ ワクワクと過ごせるよう工夫と努力をします」という3本柱をもとに、今春、ユニット毎に職員で話し合い、より具体的に取り組めるようなユニット理念を作られた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 日常的に交流しているとは言えないが、地域の方の家へ行って花を見せて頂いたり、花や野菜を頂くことがある。	
			(外部評価) 今年度から、地域の組に入り、回覧板が回ってくるようになっている。近くの神社の掃除時には、職員が参加された。事業所の「やわらぎ祭り」には地域の大学の方達が和太鼓の演奏を披露してくださった。地域の秋祭りには神輿が来てくださり、利用者、職員も楽しまれた。利用者が編んだ帽子を地域の方にプレゼントされたことで、お返しに頂いた絵画が玄関に飾られていた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 夏祭り等、地域の方に参加して頂いている。利用者さんと関わりを持つ時があるので、その機会にでも、今以上に活かしたいと思う。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価)	利用後、入退院、行事等の状況を報告して参加されて いる。口頭や議事録を作成し参加していないスタッフ にも伝え意見を頂いた事を実践しサービス向上に活か している。
			(外部評価)	
5	4	市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価)	日頃から密に連絡を取ってはいないが、地域包括支援 センターの方に相談したり、介護相談員の訪問があり 話をする機会がある。
			(外部評価)	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	研修会に参加する等、理解はしており拘束をしないよ うに取り組んでいる。
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 通報義務があるので合理的な根拠を示したり記録に残す事が重要だと思うので虐待防止に努め注意を払いたと思います。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会で資料をもらって報告しているので必要性がある時には、理解した上で活用したい。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約は管理者が主にされているが見学に来られた方に関しては、他の職員が内容によっては案内して説明している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 地域運営推進会議で家族・地域・包括センターの意見を頂き反映に努めている。 (外部評価) 来訪の多いご家族は、日中の過ごし方等、意見や要望をお聞きして日々の支援につなげておられるが、遠方におられるご家族には、月1回お手紙とホーム便りを送っておられる。	 運営推進会議時、ご家族から「車椅子の押し方や移乗の方法について教えてほしい」というようなご意見をいただき、今後、会議時にお伝えするような機会を作りたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月1回スタッフ会議で一人ひとりの意見を出せる機会を設けている。	
			(外部評価)	
			スタッフ会議では、職員個々が率直に意見を言うことに心がけておられ、「お互いにおかしいと思うことは言おうね」と声を掛け合っておられる。現場職員の意見から、利用者が使用する介護用品や設備の改善がなされた。トイレ等の目印や場所を示す床の印は職員が手作りで工夫されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			身体的な部分や精神的な面等、色々な条件を把握して努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修参加を促しており、知識や技術の向上を進めている段階である。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			月1回他の事業所との段合があり相互訪問等の活動もしておりサービス向上につなげようとしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用者さんと十分に話し合いを密にして出来るだけ本音を引き出し受け止めるように心がけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	<p>電話・手紙・面会等に報告又は、相談したり、状況に応じた対応をしている。</p>
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	<p>スタッフ間で情報を共有し何が必要とされるかを見極め対応している。</p>
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>出来ない事は、職員が支えたり、利用者から一緒に生活している中で、学ぶ事もあるので出来る限り傍に寄りそって関わっている。</p>
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>ホームでの行事等に参加して頂けるように呼びかけて来所の機会を設ける。来られた時には、家族に本人の近況を報告して関係を築いている。</p>
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	<p>友人・知人等の面会があるので、関係が途切れないように努めている。</p>
			(外部評価)	<p>毎週、利用者のご家族の方が事業所の飼い犬の散歩に来てくださり、ご本人も楽しみにされている。美容師のお孫さんが毎月ご本人の散髪に来られたり、行きつけの美容院へ車でお連れすることもある。近くの老人ホームに入居されている知り合いを訪ねることもある。2か月に1回、お友達に手紙を出すことを続けておられる利用者もいる。事業所に入居して連絡が取れなかった、と探して下さっていた知人と久しぶりに再会できた利用者もおられた。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	食事の時だけでなく、お茶会等の行事で一同に集まる時間があり、スタッフが間に入り利用者同士がお互いの考えを話せる場面がある。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	今の所はしていないが、必要に応じた姿勢で支援したいと思う。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	一人ひとりの思いや希望を出来る限り支援するように職員で話し合って意思統一を図っている。
			(外部評価)	
				職員は、利用者との会話の中から希望や興味のあることを探り、支援につなげておられる。例えば、お花が好きなこと知り、職員とともに苗や肥料を買いに行き、植物を育てることで意欲向上につながった事例がある。本がお好きな方が本を選べるよう、居間の本棚に書籍が並んでいた。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	日々の生活の中で本人から話を聞いたり家族の方等から情報収集に努めている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	記録を見たり、申し送り等で報告したり、一人ひとりと話して把握に努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人が家族の意見を取り入れて、現状に即した本人が出来る事を計画作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者個々のアセスメントに基づき、ご家族の意見や要望を聞き取り、介護計画を作成されている。又、かかりつけ医からの健康上のアドバイス等も踏まえて職員で話し合い、計画に採り入れておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別記録か連絡ノートを見たりスタッフ会で十分に話し合い見直しに活かされている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>畑で野菜作り、花作り、買物、散歩等、希望があれば実施している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の方々、包括支援センターの方、介護相談員の方等と連携しながら、快適な生活が送れるように支援したい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			本人が家族が希望する病院へ受診できるように支援し ている。	
			(外部評価)	
			入院していた病院と退院後も連絡を取り、生活上の助 言をいただき、水分摂取や精神的支援につなげておら れる。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			看護師に必要な応じて指示を頂いている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院した時は面会に行き、状態の把握に努めている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			早い段階からの話し合いはしていないので、本人、家 族、Drと十分に話し合っていないかならないと思 う。	
			(外部評価)	
			入居時に利用者のご家族に看取りの指針の説明をして おられる。看取りについてのシンポジウム等に参加し て、医療との連携、家族との関わり等について勉強さ れた。	事業所では、重度化や終末期の支援のことは、入居時 のみでなく、「重要なことなので今後はご家族と話し 合いの機会を設けたい」と考えておられた。ご家族の 心配事等も踏まえて、話し合いを重ねていかれてほし い。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 定期的な訓練は出来ていないが、急変時には医師に指示をもらい対応している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に2回避難訓練を行っている。 (外部評価) いざという時の連絡網や対応マニュアルを作っておられる。年2回、避難訓練を実施されており、昼間と夜間を想定し、利用者とともに行っておられる。水消火器を使って消火訓練もされた。災害時、近隣に住む職員が駆けつけるようになっている。	今後、回覧板で地域の方達に避難訓練の参加を呼び掛けることも検討したいと話しておられた。利用者の重度化に伴い、職員が不安を感じておられる夜間帯について、訓練や話し合い等を重ねていかれてほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個室の空間でプライバシーは守れている。 (外部評価) 居間で利用者に声をかける時には、職員は耳元で話すなど、周りにも配慮されていた。職員は、利用者にかがいがながらケアをすすめる等、利用者主体の支援ができるよう努めておられた。習字の得意な利用者の方の書を居間に掲示して季節ごとに替え、折々に話題にされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) スタッフ側の決定になりがちなのもあるが、自己決定が出来る方がいるのでその方には出来ていると思う。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り利用者のペースを優先するよう意識して心がけているが、職員の都合で対応している場合もある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人が希望する服を着てもらったり、時々、化粧等もしている。家族の方が来て髪を切られる方もいる。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 栄養バランスを考えて好む物を出して楽しみなものとなるように努めている。準備や食事の片付けは、一緒にしている方もいる。 (外部評価) 利用者と一緒に買い物に行った際や日々の会話の中から、食べ物の好みをうかがい、メニューに採り入れておられる。庭の菜園でできた野菜が食卓に上ることもある。食欲の無い方には、口当たりのよい麺類に代替えされたり、ジュース等で水分やカロリー摂取に心がけておられる。配膳されたり、食後に食器を重ねる等、ご自分のできることをされていた。雑祭りの際には、2ユニット合同でバイキング形式の食事とされたが、普段より食欲が出た利用者も多かった。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに合わせた食事量にしている。水分量は必要な方のみ記録しており、水分補給には気を配っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口をゆすいだり、歯磨きをしてもらうように努めている。出来ない方は、義歯を外す等、スタッフが介助している。記録もつけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄パターンチェック表を見て、トイレで排泄が出来るようにしている。オムツを減らすように取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			利用者個々の排泄パターンに合わせて声かけされ、なるべくトイレで気持ちのよい排泄ができるように支援しておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			朝、起きてからすぐに牛乳を飲んでもらっている。水分補給等に気をつけている。漢方を食前に飲んでいる方もいる。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			希望された方には入ってもらう方もいるが意思表示が難しい方には3日に1回、入浴して頂き気持ちよく入ってもらうように努めている。	
			(外部評価)	
			「お風呂に入りたい」と利用者が言われた時、入浴できるよう支援されている。「衣服の着脱がめんどろ」と言われる利用者には、興味のある話題でお話しながら、職員が一部介助される等、日々工夫し、気持ちよく入浴できるよう支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			利用者のリズムに合わせており、昼寝される方もいる。ソファや畳で休息できるようにもしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人ファイルに閉じており、症状の変化には注意している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 家事、買物、庭の手入れ、散歩等、一緒に活動し充実した生活が送れるように支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 家族と共に出かけられる方もいる。喫茶店、温泉、他の事業所の演奏会を見に行く機会がある。	
			(外部評価) 近所の散歩は、散歩コースを日によって変え、地域のいろいろな方との出会いを楽しまれている。以前、大勢で外出してトイレ希望が重なり、対応に困った経験を踏まえて、対応に無理のない人数で出かけるようにされた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人が所持している方もおり、大切に保管している。買物と一緒に使って使えるように支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば電話で家族の方と話す方もいる。手紙が届き家族に返事を書いて送る人もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>天井の窓を開けたり、網戸にして風を入れて換気している。食卓に花を飾っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間は、桐の床で冬は暖かく夏は風通しが良いように造られている。畳コーナーや、数か所のソファの配置も向きに配慮されており、TVを見たり、外の景色を楽しんだりと思い思いの場所で過ごされている。テーブルには利用者が育てたお花が飾られており、利用者の重度化に伴って、トイレに手摺りを付けたり、浴室に肘置き付きのシャワーベンチも設置されていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>個室で過ごしたり、フロアのソファか畳は定位置がある方もいる。移動して、いろんな所に座る方もいる。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人が家で使っていた布団やタンス、衣類等を持って来られている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>各居室とも杉の木材が使用されており、冬も暖かい造りになっている。入口の表札の名前の周りの飾りは好きな色や形、人形等が採り入れられており、ご自分のお部屋を間違えないような工夫がされている。使い慣れたタンスや椅子を持ち込まれている方やご家族の写真を飾っておられる方もある。職員と一緒に部屋の模様替えをされる方もいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>フロア、浴室、トイレには手すりがある。トイレや風呂場の入り口には目印となるものを設置して分かりやすいようにしている。</p>	